

自立活動の指導 手順シート⑤

対象となる 児童・生徒	小学部	1年	イニシャル	H,D
	主な障害：自閉症			備考：

実 態 把 握	障害の状態、発達や経験の程度、興味・関心、生活や学習環境等について多面的に情報収集	
	<p>【学習上又は生活上の困難の視点から整理】</p> <ul style="list-style-type: none"> 初めて体験することには、活動をしづむことがある。 自ら手を挙げて発表したり、活動に参加したりすることは少ない。 姿勢の保持が苦手で、思うように体の部位を動かせない。 授業への興味関心は高く、教師の話に集中して聞くことができる。 対教師とのやり取りが主だが、場を設定してあげると友達とのやり取りもできるようになってきた。 	<p>【背景要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活経験が少なく、自信がない。 自分が思い描いていることと、異なった結果が予想できる場合、活動が続けられなくなることが多い。 体験の不足と筋力の未発達。

今年度の 目標	<ul style="list-style-type: none"> ボタンの付いた衣服の着脱ができる。 清音の平仮名を正しく書くことができる。 やってほしいことがあるときに、「やって」と言葉で伝えることができる。 ○活動内容が分かり、友達と一緒に活動に参加し楽しむことができる。
------------	--

後期目標	<ul style="list-style-type: none"> 活動に見通しをもち、ルールや約束を守って友達と一緒にすごろくゲームができる。
------	--

選 定 さ れ た 項 目	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
		(2) 状況の理解と変化への対応に関する事。	(1) 他者とのかわりの基礎に関する事。 (4) 集団への参加の基礎に関する事。		(1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事。	(1) コミュニケーションの基礎的能力に関する事。

具体的な 指導内容	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に活動する中で、発表したり話したりする経験を積む。 	<ul style="list-style-type: none"> すごろくゲームの時に、次の人に「はいどうぞ。」と言ってさいころを渡す。 	<ul style="list-style-type: none"> 手や足等の身体の動かし方を意識して、準備運動やダンスに取り組む。
--------------	--	---	--

指導場面	<ul style="list-style-type: none"> 自立活動 各教科 休み時間 給食の時間 	<ul style="list-style-type: none"> 自立活動 各教科 休み時間 	<ul style="list-style-type: none"> 自立活動 朝の運動 体育
------	--	---	--

後期目標の 評価	
-------------	--